

御柱祭

▶ 神楽や山車16台が区内を練り歩きました

4月中旬から5月上旬にかけて、7年に1度の御柱祭が市内各地で行われました。4月11日、区民約700人が参加するなか盛大に行われた岩船区では、長さ約8メートルの御柱を先頭に、16台の神楽や山車の里曳きを行いました。

約6時間かけて岩水神社まで到着した御柱は、大勢の皆さんに見守られる中、木遣のかけ声とともに建てられると、拍手と歓声がわき起こっていました。



信州のシンボル



NAKANO スナッツ

中野市成人式

▶ 中野市民憲章を朗読する成人式実行委員の皆さん

5月4日、市民会館において中野市成人式を開催しました。今年の成人式は該当者571人のうち450人が出席。『OUR BELOVED NAKANO～この繋がりをいつまでも～』をテーマに、心温まる式典となりました。

第1部式典では、来賓による祝辞、4人の新成人による代表者あいさつのほか、中野市民憲章の紹介が行われ、また、第2部では、懐かしさあふれるビデオ上映、中学校校歌のメドレー、抽選会が行われました。



中山晋平生誕祭

◀ 晋平メロディーを歌う、みなみ保育園の園児たち

4月22日、「中山晋平先生生誕地記念碑保存会」主催の中山晋平生誕祭が、中山晋平記念館で開催されました。当日は献歌として、地元みなみ保育園の園児らが、晋平先生作曲の「蛙の夜まわり」に合わせて、元気よく踊りながら歌いました。続いて関係者による拝礼の後、晋平先生の功績をたたえ、日野小学校の児童らが「蛍の灯台」などを合唱し、最後は参列者全員で「證城寺の狸ばやし」を合唱しました。



菜の花まつりコンサート

▶ 癒し・共生・自己表現のハーモニー

4月29日、高野辰之記念館において、高野辰之記念祭「菜の花まつりコンサート」を開催しました。

古希を迎えた竹前文美子さんと磯貝静江さんが、辰之博士が作詞した「故郷」、「春が来た」、「朧月夜」などを歌いました。

会場は、ふたりの息の合ったすばらしいハーモニーに包まれ、訪れた人たちは鍛錬された歌声に酔いしれ、心を癒していました。



新規就職者激励大会

◀ 新社会人が緊張した面持ちで参加しました

4月7日、中央公民館において、市と商工会議所は4月から新たに市内の事業所に就職された約90人を対象に、新規就職者激励大会を開催しました。第1部式典では、小田切市長をはじめ来賓の皆さんから期待を込めた激励の言葉が送られ、続く第2部講演会では、「日本一を目指すということ」と題し、佐久長聖高等学校駅伝部監督の両角速氏が、指導者のありかたや選手の育成について、自らの経験を交えてお話しをされました。



表紙の説明

みんなで楽しく子育て!

市内には、子育て支援センターが3カ所（「りんごっこ」・「さくらんぼ」・「うさぎっ子」）あります。

これらの施設では、お子さんと一緒に遊びながら、情報交換や仲間づくりができるとともに、保育士に子育てに関する悩みなどを相談できます。また、おもちゃづくりなど親子で楽しめる講座も開いています。遊具などがたくさんあります。奮ってご利用ください。

(右の写真: 豊田子育て支援センター「うさぎっ子」)



消防団観閲式

◀ 消防規律と組織力の強化を図りました

4月29日、中野市消防団の観閲式が旧中野高等学校のグラウンドを会場に、約1,000人の団員が参加して開催されました。

観閲式では、新入団員の任命と宣誓の後、観閲官などによる団員一人ひとりの服装や規律の閲団、そして機械器具を点検する検閲が行われ、団員の皆さんは、部隊訓練の他、ポンプ操法・水防・ラッパ・救護訓練など日頃の訓練の成果を観閲官の前で披露していました。

